

“届けよう、服のチカラ” プロジェクト 活動報告

中・高等部社会科

9月から取り組んできたユニクロの「届けよう、服のチカラ」プロジェクトが、去る11/24(金)をもって、2023年の活動が終了となりました。本校ではI・IIAB課程の生徒達がそれぞれ自分の役割をこなしながら映像授業、告知(呼びかけ)、回収、仕分け、発送の5つのSTEP全ての作業を行うことができました。この機会に、洗濯や服のたたみ方の練習や普段なかなか目にしない赤ちゃん服の仕分けなども体験しました。お世話になっている児童デイサービス内でも自主的にポスターを作り、告知活動を行ってくれた生徒もいました。約3ヶ月間という短い期間ではありましたが、とてもいい学びの機会となったと思います。

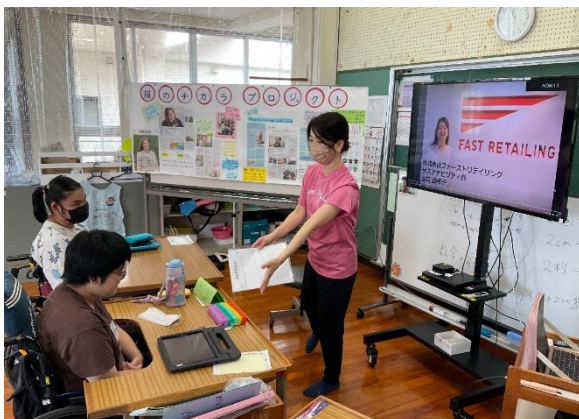
生徒たちの頑張り、桜野に関わってくださっているたくさんの方々の協力のおかげで、キッズ用半袖(294枚)・キッズ用長袖(236枚)・ベビー用(244枚)併せて774枚ものこども服が集まりました。みなさん、本当にありがとうございました。

STEP I : 社員による映像授業(写真はI・IIA課程)

UNIQLO 本社の方の映像をもとに「服のチカラ」について学習しました。

SDGs (Sustainable Development Goals) の概要やリサイクルの意義、服にはどのようなチカラがあるのか、回収した服の活用法、写真や映像、パワーポイントを使って授業をしました。

(生徒たちが、自分たちにもできる社会貢献があることに気づくきっかけをつくります。)



主に

- 【1】服が持つ「チカラ」とは？
- 【2】難民ってどんな人？
- 【3】みなさんと達成したいこと

など



授業の終わりには、授業感想文を書いて事務局へ提出しました。(印象に残ったキーワードや授業を受けてみてこれからどんなアクションを起こしたいかなど)

STEP 2 : 告知・呼びかけ

校内や地域に呼びかけを行うために、ポスターや回収ボックス、動画撮影を行いました。

* I 課程：動画撮影/ II A 課程：iPad でチラシ作り/ II B 課程：役割を決めてポスターや回収ボックス作り



STEP 3 : 回収

手作りの回収ボックスを設置して、こども服を回収しました。生徒や職員（家族）、療育センターや児童デイサービスの方 etc..学校まで届けてくれました。



協力してくださった

★みなさま★

- ・名護療育センター職員様
- ・児童発達支援センター
パステル職員様
- ・桜野児童生徒の保護者様
- ・職員 比嘉清史
浜田千寿
- ・その他
看護師さんや職員の
友人、家族のみなさま

ありがとう
ございました

STEP 4 : 仕分け

3つのカテゴリー（キッズ用半袖・半ズボン/長袖・長ズボン/ベビー用）に仕分けしました。



みじかい?



チャックしめる〜



はんそでは ここね!

(先生に)

はい、でー冷!



ながい?



ながい?



礼奈さんが、洗濯したりハンガーに掛けて干したりしてくれました！



STEP 5 : 発送

キッズ用半袖（294枚）・キッズ用長袖（236枚）・ベビー用（244枚）併せて **774枚**



ご協力、ありがとうございました